

enPiT PBL 説明シート

PBL 名 : アジャイル開発手法を用いた Web アプリケーション開発
主担当 : 永瀬美穂 副担当 : 吉岡弘隆、中鉢欣秀
PBL テーマ : アジャイル開発手法で Web プログラマーになる
PBL 概要 : アジャイル開発手法である Scrum を使って、Web サービスの企画立案から始まり、プロトタイプ開発によるアーキテクチャベースラインの確立、インクリメンタルな機能開発、運用・保守までを実践する。 具体的なテーマとしては、楽天株式会社の Web アプリケーション開発用の API を利用し、実用レベルの製品・サービスの開発と運用を経験する。
PBL の目的/受講者の到達目標 Scrum を理解し、モダンな Web アプリケーション開発のための基盤を活用して、価値の高いソフトウェア開発をチームワークで行うことを目的とする。 受講者はこの PBL を通じて、楽天 API を利用した Web アプリケーションを作成し、成果報告会で発表する。
受講のための前提知識 (履修条件) 「コラボレイティブ開発特論」(短期集中講義科目) 及び「アジャイル開発手法特論」(短期集中講義科目) を修得していること。 なんらかのソフトウェア開発プロジェクト経験があることが望ましい。 (最低実施人数 4 名 最大実施可能人数 20 名)
進め方 (授業の計画) 毎週の繰り返しによる開発を計 8 週間で実施する。1 週間の進め方はアジャイル開発手法特論の中で擬似体験する。そこで習得した学習サイクルを 8 週間繰り返す。全 60 コマのうち 30 コマ分はコアタイムとし、そのうち 8 コマ (週 1 コマ×8 週) は土曜日 2 限に行われるアプリケーションのレビューに充てる。毎週のレビューでは、アジャイル開発手法特論で作った計画に基づいて実装したものをデモする。レビューで得られたフィードバックや知見に基づいて計画を修正しながら、プロダクトを作り込むことを繰り返す。残りはチームの共同作業の時間とする。共同作業の時間は教員と協議の上決定する。コアタイム以外の 30 コマ分は自習時間とするが、これもチームの共同作業にあてても構わない。
自由記述欄